相談事例②
「夜に外出することが増えてきたし、授業もついていけない・・・」
そんなときに、スクールカウンセラーにどのように関わってもらえるのでしょうか。

●対象児童生徒：中学生１年生の男子

中学生になり、先輩たちに夜に遊びに誘われることが多くなった。もともと勉強についていけなかったのもあり、しだいに遅刻や欠席も増えて授業中の態度も注意されることが多くなった。

●スクールカウンセラーの取り組みと児童の変化

６月 スクールカウンセラーが教室へ行き、様子をみる	○授業中であるが、スクールカウンセラーによく話しかけてくる。その中で勉強がわからないのでつまらない、と話す。気晴らしも含めて相談室への来室をすすめると、本人も興味を示した。
７月 スクールカウンセラーとの相談開始（生徒・母親）	○スクールカウンセラーとの相談の中で、勉強の苦手な部分についてや、家庭に対する思いなどを話すようになっていく。 ○スクールカウンセラーと授業場面を想定して、苦手な教科の受け方などを具体的に話していく。 ○母親とは普段の生活内での関わり方などを一緒に考えていく。
１０月 学校生活での約束を決めていく	○行きたい高校もしだいに決まり、目標が出てき始めた。 ○イライラ、集中できない時に勝手に保健室へ行くことを繰り返していたが、利用を認める代わりに教員へ伝えてから利用することを担任と約束。実際に声をかけてから出るようになった。

●保護者のみなさま、学校の先生方へ

子どもの気になる行動が増えてきた・・・気になり始めたときには、スクールカウンセラーに相談してみてください。

お子さん本人にはもちろん、保護者の方からもお話を聴くことができます。ご家庭での接し方だけでなく、学校内でサポートできることなどを一緒に考えていきます。また、スクールカウンセラーの強みは、お子さんの学校での様子を見れることと、先生方からのお話も聞けることです。先生方と協力してお子さんのサポートをしていくこともできます。

ぜひ、抱え込まずに悩んでいることや迷っていることをお話しください。